

C調査:Ⅲ 各疾患区分の急性期・回復期・維持期の評価項目・治療目標項目について

表12-13) 神経・筋疾患-2 筋萎縮性側索硬化症:回復期

Ⅲ神経・筋疾患-2別	1. 特定機能病院	2. 一般病床のみ	3. 一般病床+療養型病床群	4. 療養型病床群のみ	5. 無床診療所	6. 有床診療所	総計
1			1			1	2
2	5		5	4	1		15
3	23		20	6			49
4	24		34	17	1	1	78
5	1		3	1			5
6	1			1			2
10	5		4	2			11
11	1		4	3			8
12	1		3	1			5
13	4		3	2			9
17	1		3	1			5
19	3		1	5			9
20	2						2
21	1						1
22	1						1
23	2		3				5
24			1				1
26	3		2				5
29	1						1
30	2			3			5
総計	81	87	46	2	1	2	219

治療目標項目*	1. 特定機能病院	2. 一般病床のみ	3. 一般病床+療養型病床群	4. 療養型病床群のみ	5. 無床診療所	6. 有床診療所	総計
1	4		6	2	1		13
2	19		22	18	1		60
3	2		1	1			4
4	1						1
7	2		5	1		1	9
8	23		19	7			49
9	2		4	1			7
10	1		4	1			6
11	2		4	3			9
12	2						2
13	1		1				2
16	3		2				5
17	1						1
18	1		1				2
19	1		2				3
20	3		2				5
21	1		2				3
22	2		1	1			4
23	3		4				8
24	2		5			1	8
25	1			5			6
26	1						1
28			2	1			3
29	1			1			2
30	2			3			5
総計	81	87	45	2	1	2	218

治療項目*	1. 特定機能病院	2. 一般病床のみ	3. 一般病床+療養型病床群	4. 療養型病床群のみ	5. 無床診療所	6. 有床診療所	総計
1			8	1			9
2	8		5	3	1		17
3	21		16	13			50
4	3		5	4			12
5	2		4	1			7
6	2			1			3
7	21		18	9		1	49
8	1		1	1	1		4
9			5	1			7
10	2		4	3			10
14				1			1
16	4		2	1			7
18	1		2	2			5
19	3		3				6
20	1						1
21	1		1				2
22	6		7				13
23	1		6				7
24	2						2
29				1			1
30	2			3			5
総計	81	87	45	2	1	2	218

*:各項目は内容は回答一覧を参照。セルの数値は各施設ごとの各項目における重要度(順位)第1の件数を示す。

C調査:Ⅲ 各疾患区分の急性期・回復期・維持期の評価項目・治療目標項目について

表12-13) 神経・筋疾患-2 筋萎縮性側索硬化症:維持期

評価項目*	1. 特定機能病院	2. 一般病床のみ	3. 一般病床+療養型病床群	4. 療養型病床群のみ	5. 無床診療所	6. 有床診療所	総計
1		2					2
2		5	10	2	1		18
3		17	11	5	1	1	35
4		17	16	15	1		49
5		1	5	1			7
6		2		1			3
7			1				1
10		4	6	1			11
11		1	1	5			7
12		1	2				3
13		9	8	6			23
17		2	4	2			8
18		1					1
19		2	3	3			8
20		4	6	4		1	15
21		1	2	1			4
22		4	5	1		1	11
23		4	13	2			19
25		1					1
26		2	2			1	5
29		1					1
30		1		1			2
総計	80	97	50	3	2	2	234

治療目標項目*	1. 特定機能病院	2. 一般病床のみ	3. 一般病床+療養型病床群	4. 療養型病床群のみ	5. 無床診療所	6. 有床診療所	総計
1		2	10	1	1		14
2		13	13	8		1	35
3		1		1			2
7		3	5				8
8		10	10	3	1		24
9		2	2	1			5
10		1	2				3
11		5	8	3			16
12		1					1
13		1					1
16		2	3	3			8
17		1					1
18			1				1
19		5	10	3		1	19
20		3	1				4
21		2	8	2			12
22		4	2	6		1	13
23		9	9	10	1		29
24		7	9	3		1	20
25		1	2	1			4
26		3	1				4
27			1				1
28		2		3			5
29		1		1			2
30		1		1			2
総計	80	97	50	3	2	2	234

治療項目*	1. 特定機能病院	2. 一般病床のみ	3. 一般病床+療養型病床群	4. 療養型病床群のみ	5. 無床診療所	6. 有床診療所	総計
1		2	5	1	1		9
2		6	9	1			16
3		9	9	5			23
4		2	1	2			5
5			2				2
6		1		1			2
7		5	4	8		1	18
8			1	1			2
9		3	3				6
10		5	12	2			19
11		1					1
16		4	7	3			14
17		1					1
18		1	3	1			5
19		4	9	2			15
20		1					1
21		10	7	2		2	21
22		7	11	11	1		30
23		9	11	3	1	1	25
24		7	2	4			13
25		1					1
26			1				1
28				1			1
29				1			1
30		1		1			2
総計	80	97	50	3	2	2	234

*:各項目は内容は回答一覧を参照。セルの数値は各施設ごとの各項目における重要度(順位)第1の件数を示す。

C調査:Ⅲ 各疾患区分の急性期・回復期・維持期の評価項目・治療目標項目について

表12-14) 神経・筋疾患-3 筋ジストロフィー症:急性期

評価項目*	1. 特定機能病院	2. 一般病床のみ	3. 一般病床+療養型病床群	4. 療養型病床群のみ	5. 無床診療所	6. 有床診療所	総計
2	10	10		6			26
3	9	10		3			22
4	39	42		18	1	2	102
5	2	1		2			5
6	2	1		1			4
7	1						1
10	2			2			4
11			1				1
12	1	3					4
13	3	1					4
14				1			1
15	1						1
16		5					5
19	2						2
23	4	1		2			7
26	5	4		3			12
27		1					1
30				1			1
総計	81	80		39	1	0	203

治療目標項目*	1. 特定機能病院	2. 一般病床のみ	3. 一般病床+療養型病床群	4. 療養型病床群のみ	5. 無床診療所	6. 有床診療所	総計
1	8	11		7			26
2	35	39		16		1	91
3	4	2		3			9
4	1						1
7	3	3			1		7
8	8	5		6			19
9	2	1		1			4
10	1	4					5
11	3						3
13	1	1					2
14	1						1
15	2	4					6
19	1						1
21	4	1					5
23	1	6		1		1	9
24	5	3		2			10
25	1						1
29				1			1
30				1			1
総計	81	80		38	1	0	202

治療項目*	1. 特定機能病院	2. 一般病床のみ	3. 一般病床+療養型病床群	4. 療養型病床群のみ	5. 無床診療所	6. 有床診療所	総計
1	3	9		1			13
2	11	10		8			29
3	11	8		5	1		25
4	6	2		1			9
5	4	7					11
6				2			2
7	25	20		12		1	58
8	3	4		1			8
9	6	5		1			12
10	1			1			2
13	2	4		1			7
19	4	2					6
22		2		2		1	5
23	4	6		1			11
24	1						1
25		1					1
29				1			1
30				1			1
総計	81	80		38	1	0	202

*:各項目は内容は回答一覧を参照。セルの数値は各施設ごとの各項目における重要度(順位)第1の件数を示す。

C調査:Ⅲ 各疾患区分の急性期・回復期・維持期の評価項目・治療目標項目について

表12-14) 神経・筋疾患-3 筋ジストロフィー症:回復期

評価項目*	1. 特定機能病院	2. 一般病床のみ	3. 一般病床+療養型病床群	4. 療養型病床群のみ	5. 無床診療所	6. 有床診療所	総計
2		5	9	2			16
3		8	10	11			29
4		26	32	12	1	1	72
5		2		1			3
6		2	2	1			5
7		1					1
10		2	1	2	1		6
11		2	4	2			8
12		2	1	1			4
13		4	2	1			7
16			2				2
17			3				3
19		3	2	1			6
21		2					2
22			1	1			2
23		2	1				3
24						1	1
26		4	2				6
30				3			3
総計		65	72	38	2	0	2 179

治療目標項目*	1. 特定機能病院	2. 一般病床のみ	3. 一般病床+療養型病床群	4. 療養型病床群のみ	5. 無床診療所	6. 有床診療所	総計
1		2	6	2			10
2		20	28	10			59
3		3	3	2	1		9
4		2					2
6			1				1
7		5	1	2			8
8		15	11	4		1	31
9		1	4	2			7
10			3	2			5
11		4	2	1			7
13		1					1
15			3				3
16		1	3				4
17			1				1
18		1					1
20			1	5			6
21		1	1				2
22		1				1	2
23		1	2	2			5
24		5	2	1			8
25		1					1
26		1					1
29				1			1
30				3			3
総計		65	72	37	2	0	2 178

治療項目*	1. 特定機能病院	2. 一般病床のみ	3. 一般病床+療養型病床群	4. 療養型病床群のみ	5. 無床診療所	6. 有床診療所	総計
1		2	5	1			8
2		6	10	2			18
3		4	10	3		1	18
4		4	2	4			10
5		3	10	1	1		15
6			2	1			3
7		22	15	9	1		47
8		3	1	1			5
9		4	1	1			6
10		1	2				3
11		1	1				2
13			2				2
15		1	1				2
16		2	1				3
18		2		7			9
19		2	1				3
20		2				1	3
21		1					1
22			4	3			7
23		3	1				4
24		2	3				5
29				1			1
30				3			3
総計		65	72	37	2	0	2 178

*:各項目は内容は回答一覧を参照。セルの数値は各施設ごとの各項目における重要度(順位)第1の件数を示す。

C調査:Ⅲ 各疾患区分の急性期・回復期・維持期の評価項目・治療目標項目について

表12-14) 神経・筋疾患-3 筋ジストロフィー症:維持期

評価項目*	1. 特定機能病院	2. 一般病床のみ	3. 一般病床+療養型病床群	4. 療養型病床群のみ	5. 無床診療所	6. 有床診療所	総計
1		1					1
2	10	6		3	1		20
3	13	11		3		1	28
4	25	10		6	2	3	46
5	1	1		1			3
6	1	1		1	1		4
10	3	4		2			9
11	2	4		9			15
12	1	4					5
13	6	8		2			16
14		1					1
16		1					1
17	2	3		1		1	7
18		2					2
19	2	1		1			4
20	2	4		2			8
21	1	3		3			7
22	2	3		1		1	7
23	4	5		2			11
24		1					1
25				1			1
26	1	1					2
29		1					1
30	1						2
総計	77	76		39	4	4	212

治療目標項目*	1. 特定機能病院	2. 一般病床のみ	3. 一般病床+療養型病床群	4. 療養型病床群のみ	5. 無床診療所	6. 有床診療所	総計
1	4	4		2	1		11
2	16	13		4	1	2	36
3				1		1	2
7	3	2					5
8	9	10		8		1	28
9	2	4		5			11
10		4					4
11	5	8					13
12	1						1
13	2			2			4
15		1					1
16	1	4		3		1	9
19	8	4		1			13
20	4	3		1		1	9
21	2	2		2			6
22	5						5
23	6	9		1			17
24	6	5		3	1		15
25		1		1			2
28	1			2			3
29		1		1			2
30	1	1		1			3
総計	78	76		38	4	4	200

治療項目*	1. 特定機能病院	2. 一般病床のみ	3. 一般病床+療養型病床群	4. 療養型病床群のみ	5. 無床診療所	6. 有床診療所	総計
1	2	5		1			8
2	6	10		2			18
3	4	10		3		1	18
4	4	2		4			10
5	3	10		1	1		15
6		2		1			3
7	22	15		9	1		47
8	3	1		1			5
9	4	1		1			6
10	1	2					3
11	1	1					2
13		2					2
15	1	1					2
16	2	1					3
18	2			7			9
19	2	1					3
20	2					1	3
21	1						1
22		4		3			7
23	3	1					4
24	2	3					5
29				1			1
30				3			3
総計	65	72		37	2	0	178

*:各項目は内容は回答一覧を参照。セルの数値は各施設ごとの各項目における重要度(順位)第1の件数を示す。

(資料)

平成 1 1 年度
厚生科学（医療技術評価総合）研究事業

[調査票 C]

理学療法士、作業療法士等リハビリテーション
関連職種に関する調査

主任研究者

信川 益明 (杏林大学医学部医療科学教室助教授)

研究協力者

黒川 幸雄 (北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科
理学療法学専攻助教授、日本理学療法士協会副会長)

松永 篤彦 (北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科
理学療法学専攻専任講師)

荻原 喜茂 (国際医療福祉大学保健学部作業療法学科助教授、
日本作業療法士協会事務局長)

岩瀬 義昭 (鹿児島大学医学部保健学科助教授)

大河原 健 (コロンビア大学経済研究所研究主幹)

調査票の記入方法

「調査票C」の記入に当たっては、下記の記入要領に従ってご記入下さい。

I. 「調査票C」および「調査票C 回答用紙」(別紙)の部数・記入者・概要

部数	記入者	概要
10部	理学療法担当者、作業療法担当者の先生にお願い致します。	貴(医療)施設の理学療法担当者(5名まで)、作業療法担当者(5名まで)に質問しています。

II. ご記入済みの「調査票C 回答用紙」(別紙)は同封の返信用封筒で、平成12年3月21日(火)までに下記の研究班事務局宛てにご返送下さい。

〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2
杏林大学医学部医療科学教室内
「理学療法士、作業療法士等リハビリテーション
関連職種の適正配置に関する研究班事務局」
TEL:0422-47-5511 内線 5722 (信川) または内線 3551 (西田)
FAX:0422-47-9855

III. なお、本調査の結果につきましては後日ご報告させて頂く予定であります。

IV. 本調査についてのお問い合わせは、下記へご連絡下さい。

(1) 理学療法担当者

北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科理学療法学専攻
助教授 黒川 幸雄 (Kurokawa Yukio)
〒228-8555 神奈川県相模原市北里 1-15-1
TEL/FAX:042-778-9650、E-mail: kuro1@kitasato-u.ac.jp

(2) 作業療法担当者

国際医療福祉大学保健学部作業療法学科
助教授 荻原 喜茂 (Ogihara Yoshishige)
〒324-0011 栃木県大田原市北金丸 2600-1
TEL:0287-24-3186、FAX:0287-24-3191
E-mail: yogihara@iuhw.ac.jp

[調査票 C] 理学療法士、作業療法士等の業務分析に関する調査

(お願い)

1. この業務分析に関する調査は理学療法担当者、作業療法担当者が調査項目をご記入下さい。
 - ① 理学療法担当者・作業療法担当者が各々1名～5名の場合は、各々全員の方がご記入下さい。
 - ② 理学療法担当者・作業療法担当者が各々6名以上の場合は、各々5名の方
 - i. 理学療法士・作業療法士が各々5名以上の場合は、理学療法士・作業療法士の中から各々5名の記入者をお選び下さい。
 - ii. 理学療法士・作業療法士が各々1～4名の場合は、理学療法士・作業療法士全員と、その他の理学療法担当者・作業療法担当者を含めて各々5名の記入者をお選び下さい。
2. この業務分析に関する調査は、「急性期」、「回復期」および「維持期」の違いによって対象患者に対してどのように「評価」、「治療目標」、「治療指導援助の内容やプログラムの重要性」が異なってくるのかを調査するものです。
3. (医療)施設によって、主要14疾患について、「急性期」、「回復期」および「維持期」のどの時期の診療を行っているかは異なりますので、関係のない時期、ほとんど扱っていない疾患は、省略して、関係するところのみご記入下さい。
4. 対象疾患は、主要14疾患としました。(平成10年度厚生科学研究医療技術評価総合研究事業による補助金を受けて、本研究班が実施しました「理学療法士、作業療法士等リハビリテーション関連職種に関する調査」の調査票Bの集計結果に基づく)
5. 「急性期」、「回復期」および「維持期」の定義は以下の通りとしましたが、疾患の種類、重症度、回復の継続の状況などによっても判断が異なるため、厳密には時間的経過のみで判断しにくい場合には、医療機関、施設の判断あるいは記入者の判断にお任せいたします。
 - 1) 「急性期」：発症直後から2～3週目頃までとする。
 - 2) 「回復期」：3週目以降6カ月頃までとする。
 - 3) 「維持期」：6カ月以降
6. (医療)施設内および外の関連職種との連携についての調査なども行います。
7. ご記入済みの「回答用紙」は、同封の返信用封筒で平成12年3月21日(火)までにご返送をお願いします。
 - 1) 14疾患に関する「評価項目」、「治療目標項目」、「治療項目(治療指導援助プログラム項目)」について、重要なもの3項目を「回答一覧」(本調査票の最終ページ)より選び、「急性期」・「回復期」・「維持期」ごとに、重要と考える順序で、「回答用紙」の「評価項目」・「治療目標項目」・「治療項目」(1)～(3)に番号をご記入下さい。
 - 2) 「回答一覧」に該当する項目がない場合は、お手数ですが項目の内容をご記入下さい。

I. 基本情報

調査票に記入時点の現況を記入して下さい。

「回答用紙」(別紙)に該当する番号、数字を記入して下さい。

(1) 「回答用紙」に、貴(医療)施設の種類の該当する番号を記入して下さい。

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 病院：特定機能病院 | 2. 病院：一般病床のみ |
| 3. 病院：一般病床＋療養型病床群 | 4. 病院：療養型病床群のみ |
| 5. 診療所：無床診療所 | 6. 診療所：有床診療所（一般病床のみ） |
| 7. 診療所：有床診療所（一般病床＋療養型病床群） | |
| 8. 診療所：有床診療所（療養型病床群のみ） | |
| 9. 老人保健施設（痴呆療養棟有り） | 10. 老人保健施設（痴呆療養棟無し） |

(2) 「回答用紙」に、貴(医療)施設の理学療法士・作業療法士数を記入して下さい。

該当しない箇所はゼロ(0)として下さい。

- 1) 理学療法士 _____ 人 2) 作業療法士 _____ 人

(3) 実務担当者の立場で理学療法士・作業療法士の増員を望むとすれば、何名の増員を望みますか。「回答用紙」に【該当しない箇所はゼロ(0)】と記入して下さい。

- 1) 理学療法士 _____ 人 2) 作業療法士 _____ 人

II. 他職種および他機関との連携について

「回答用紙」(別紙)に該当する番号を記入して下さい。「その他」の場合は、具体的な内容も記入して下さい。

(4) 医師から患者の退院時期について、理学療法士・作業療法士への事前の相談はありますか。最も該当する番号を「回答用紙」に記入して下さい。

1. 非常によくある 2. 時々ある 3. ほとんどない、
4. その他（具体的内容 _____）

(5) 理学療法士・作業療法士は、外部の(医療)施設・家庭に患者の状態を記載した連絡書を書くことがありますか。最も該当する番号を「回答用紙」に記入して下さい。

1. 非常によくある 2. 時々ある 3. ほとんどない
4. その他（具体的内容 _____）

(6) 貴方の(医療)施設は、チーム間の連携がどのようにとれていますか。最も該当する番号を「回答用紙」に記入して下さい。

1. 非常によくとれている 2. まあまあよくとれている 3. 普通
4. あまりとれていない 5. 全くとれていない
6. その他（具体的内容 _____）

(資料)

平成11年度厚生科学(医療技術評価総合)研究事業

[調査票 C] 回答用紙

(医療) 施設名: _____

部(科)名: _____

記入者氏名: _____

職種: 1. 理学療法士 2. 作業療法士 3. その他(具体的に _____)

卒後の臨床経験年数: _____ 年

電話番号: () - FAX番号: () -

所在地: 〒 _____

I. 基本情報 (記入時点の現況を記入して下さい。)

設 問	回 答
(1)	
(2)	1) 理学療法士: 人、 2) 作業療法士: 人
(3)	1) 理学療法士: 人、 2) 作業療法士: 人

II. 他職種および他機関との連携について

設 問	回 答 (番号を記入)	その他の場合(具体的な内容をご記入下さい)
(4)		4. その他の場合:
(5)		4. その他の場合:
(6)		6. その他の場合:
(7)		6. その他の場合:
(8)		4. その他の場合:
(9)		6. その他の場合:
(10)		6. その他の場合:

Ⅲ. 各疾患区分の急性期・回復期・維持期の評価項目・治療目標・治療項目について

下記の14疾患に関する「評価項目」、「治療目標項目」、「治療項目（治療指導援助プログラム項目）」について、重要なもの3項目を「回答一覧」（「調査票C」の最終ページ）より選び、「急性期」・「回復期」・「維持期」ごとに、重要と考える順序で、評価項目・治療目標・治療項目の(1)～(3)に番号をご記入下さい。

なお、「回答一覧」に該当する項目がない場合は、お手数ですが項目の内容をご記入下さい。

1) 脳損傷－1 脳血管障害

急性期			回復期			維持期		
評価項目	治療目標	治療項目	評価項目	治療目標	治療項目	評価項目	治療目標	治療項目
(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)

脳損傷－2 頭部外傷

急性期			回復期			維持期		
評価項目	治療目標	治療項目	評価項目	治療目標	治療項目	評価項目	治療目標	治療項目
(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)

脳損傷－3 痴呆

急性期			回復期			維持期		
評価項目	治療目標	治療項目	評価項目	治療目標	治療項目	評価項目	治療目標	治療項目
(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)

2) 整形外科疾患－1 骨折

急性期			回復期			維持期		
評価項目	治療目標	治療項目	評価項目	治療目標	治療項目	評価項目	治療目標	治療項目
(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)

整形外科疾患－2 変形性関節症

急性期			回復期			維持期		
評価項目	治療目標	治療項目	評価項目	治療目標	治療項目	評価項目	治療目標	治療項目
(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)

整形外科疾患－3 慢性関節リウマチ

急性期			回復期			維持期		
評価項目	治療目標	治療項目	評価項目	治療目標	治療項目	評価項目	治療目標	治療項目
(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)

3) 呼吸・循環・代謝疾患－1 慢性閉塞性肺疾患

急性期			回復期			維持期		
評価項目	治療目標	治療項目	評価項目	治療目標	治療項目	評価項目	治療目標	治療項目
(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)

呼吸・循環・代謝疾患－2 心筋梗塞

急性期			回復期			維持期		
評価項目	治療目標	治療項目	評価項目	治療目標	治療項目	評価項目	治療目標	治療項目
(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)

呼吸・循環・代謝疾患－3 糖尿病

急性期			回復期			維持期		
評価項目	治療目標	治療項目	評価項目	治療目標	治療項目	評価項目	治療目標	治療項目
(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)

※ 裏面に続きます。

4) 脊髄疾患-1 脊髄損傷

急性期			回復期			維持期		
評価項目	治療目標	治療項目	評価項目	治療目標	治療項目	評価項目	治療目標	治療項目
(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)

脊髄疾患-2 後縦靭帯骨化症

急性期			回復期			維持期		
評価項目	治療目標	治療項目	評価項目	治療目標	治療項目	評価項目	治療目標	治療項目
(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)

5) 神経・筋疾患-1 パーキンソン病

急性期			回復期			維持期		
評価項目	治療目標	治療項目	評価項目	治療目標	治療項目	評価項目	治療目標	治療項目
(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)

神経・筋疾患-2 筋萎縮性側索硬化症

急性期			回復期			維持期		
評価項目	治療目標	治療項目	評価項目	治療目標	治療項目	評価項目	治療目標	治療項目
(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)

神経・筋疾患-3 筋ジストロフィー症

急性期			回復期			維持期		
評価項目	治療目標	治療項目	評価項目	治療目標	治療項目	評価項目	治療目標	治療項目
(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)

ご協力有難うございました。

ご記入済みの「調査票C 回答用紙」は、同封の返信用封筒で、平成12年3月21日(火)までにご返送下さい。

- (7) チーム間の連携について、改善を望みますか。
最も該当する番号を「回答用紙」に記入して下さい。
1. 非常に強く望む 2. 少し望む 3. どちらでもよい
4. あまり望まない 5. 全く望まない
6. その他（具体的内容 ）
- (8) ケースカンファレンスが行われていますか。
最も該当する番号を「回答用紙」に記入して下さい。
1. 全く行われていない 2. 時々行われる 3. ほとんど行われない
4. その他（具体的内容 ）
- (9) 対象者が貴（医療）施設に入院・入所する場合どこからの入院・入所が多いですか。
頻度の多いものを1つ選んで、該当する番号を「回答用紙」に記入して下さい。
1. 在宅から 2. 病院 3. 診療所 4. 老人保健施設
5. 特別養護老人ホーム
6. その他（具体的内容： ）
- (10) 対象者が貴（医療）施設から退院・退所する場合、行き先で頻度の多いものを1つ選んで、該当する番号を「回答用紙」に記入して下さい。
1. 在宅 2. 転院 3. 老人保健施設 4. 特別養護老人ホーム
6. その他（具体的内容 ）

Ⅲ. 各疾患区分の急性期・回復期・維持期の評価項目・治療目標・治療項目について

「回答用紙」（別紙）に該当する番号を記入して下さい。

下記の5つの疾患区分に基づく14疾患に関する「評価項目」、「治療目標」、「治療指導援助プログラム項目（治療項目）」について重要なもの3項目を「回答一覧」（本調査票の最終ページ）より選び、「急性期」・「回復期」・「維持期」ごとに、重要と考える順序で、「回答用紙」（別紙）の（1）～（3）に番号を記入して下さい。「回答一覧」に該当する項目がない場合は、お手数ですが項目の内容をご記入下さい。

- 1) 脳損傷（脳血管障害、頭部外傷、痴呆）
- 2) 整形外科系疾患（骨折、変形性関節症、慢性関節リウマチ）
- 3) 呼吸・循環・代謝疾患（慢性閉塞性肺疾患、心筋梗塞、糖尿病）
- 4) 脊髄疾患（脊髄損傷、後縦靭帯骨化症）
- 5) 神経・筋疾患（パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、筋ジストロフィー症）

「回答一覧」は裏面です。

【回答一覽】

【評価項目】

1. ブルンストローム・テスト
2. 関節可動域テスト
3. ADLテスト (基本動作除く)
4. 筋機能 (筋力・筋持久力)
5. 筋緊張・協調性テスト
6. 姿勢・姿勢調節・平衡機能
7. 失語症検査
8. 失認・失行テスト
9. 知的機能
10. 全身持久力

【治療目標項目】

1. 関節可動域の改善
2. 筋機能改善 (筋力増強・筋持久力向上)
3. 姿勢・姿勢調節・平衡機能改善
4. 言語機能改善
5. 失認・失行の改善
6. 知的機能改善 (理解力、見当識・感情調節など)
7. 全身持久力向上
8. ADL(身辺処理・トイレ・入浴・食事など)
9. 寝返り・起き上がり・座位保持動作獲得・安定性向上
10. 立位・歩行・階段昇降動作の獲得・安定性向上

【治療項目：治療指導援助プログラム項目】

1. 機能訓練
2. 関節可動域訓練
3. 身辺処理能力改善訓練
4. 起居動作・座位訓練
5. 立位・歩行・移動機能訓練
6. 姿勢・姿勢調節・平衡機能改善訓練
7. 筋力・筋持久力増強訓練
8. 筋緊張調整・協調性訓練
9. 全身持久力向上訓練
10. 呼吸循環機能訓練

11. 寝返り・起き上がり・座位機能
12. 立位・歩行・階段昇降・移動機能
13. 呼吸循環機能
14. 疼痛
15. 反射・感覚・知覚テスト
16. 運動発達
17. 家屋評価
18. 生活時間・習慣など評価
19. 疲労度チェック
20. 自覚的QOL (満足度等)
21. 客観的QOL(経済、職業、医療等)
22. 生活関連動作
23. 心理面のチェック
24. 補装具の適応・評価
25. 人間関係評価
26. 問診
27. 視診
28. 触診
29. その他
30. 該当無し

21. 人間関係心理的問題の改善
22. 補装具装着・適応・福祉機器導入
23. 心身機能維持
24. 能力維持
25. 生活環境の改善・生活行動範囲の拡充
26. 施設長期短期入所・デイケア・その他サービス活用
27. 医療機関入院
28. 在宅生活の継続
29. その他
30. 該当無し

11. 疼痛治療・指導
12. 知的機能訓練
13. 運動発達訓練
14. 物理療法
15. 徒手療法
16. 家屋環境調整 (改造、配置など)
17. 生活時間・習慣などの調整
18. 生活関連動作訓練
19. 人間関係・心理的問題の調整
20. 補装具適応・装着時訓練
21. 福祉機器・器具の導入訓練など
22. 維持的心身機能訓練
23. 維持的能力訓練
24. 家庭復帰指導援助
25. その他退院時の指導
26. 在宅訓練
27. 通所訓練
28. 家庭訓練指導
29. その他
30. 該当無し

II. 研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
信川益明	VII 医療資源 人的資源	鈴木信 信川益明	医療科学第2版	医学書院	東京	2000	163-167
信川益明	VIII 医療供給体制（地域医療システム） E. 地域医療のシステム化.	鈴木信 信川益明	医療科学第2版	医学書院	東京	2000	189-200
信川益明	X 医療情報 A. 保健・医療・福祉の情報.	鈴木信 信川益明	医療科学第2版	医学書院	東京	2000	242-247
信川益明	XIII 医療評価 B. 管理運営評価.	鈴木信 信川益明	医療科学第2版	医学書院	東京	2000	316-325

雑誌

発表者名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
信川益明	地域医療とネットワーク	Therapeutic Research	21(10)	40-47	2000

Ⅲ. 研究成果の刊行物・別刷

20001087

これ以降は雑誌/図書等に掲載された論文となりますので P.73
の「研究成果の刊行に関する一覧表」をご参照ください。